

第 1 事業報告書

平成 23 年度財団法人広島市農林水産振興センター事業報告書
(平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

広島市における農山漁村地域の農林水産業等の活性化及びその振興を図るとともに、農山漁村地域の持つ公益的機能を活用した事業を推進し、もって高い発展性と社会貢献性を持つ農山漁村地域の確立と市民福祉の増進に寄与することを目的とする。

(2) 概況

ア 設立年月日

平成 4 年 4 月 1 日 財団法人広島市農業振興センターとして設立

平成 10 年 4 月 1 日 財団法人広島市林業振興公社と統合

平成 17 年 4 月 1 日 財団法人広島市水産振興協会と統合

イ 基本財産

設立当初、基本財産は、5,000 万円（全額広島市出資）であったが、平成 10 年 4 月 1 日財団法人広島市林業振興公社との統合に伴い、同財団から 3,000 万円を寄附受領した。また、平成 17 年 4 月 1 日財団法人広島市水産振興協会との統合に伴い、広島市から 1,000 万円の追加出資があったことにより、現在の基本財産は、9,000 万円（うち広島市出資 6,000 万円）である。

ウ 実施事業

- (ア) 農林水産業の振興に関する指導及び普及啓発
- (イ) 水源涵養や緑地保全等公益的機能の活用に関する指導及び普及啓発
- (ウ) 農山漁村地域の担い手の育成及び指導
- (エ) 農地保有の合理化等に関する事業
- (オ) 水産資源の維持増殖に必要な重要魚介類等の種苗生産
- (カ) 広島市の委託を受けて行う農林水産業振興施設等の管理運営事業及びこれらに付随する事業
- (キ) その他設立目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の数

理事長	1 人
常務理事	1 人
理事	9 人
監事	2 人
評議員	18 人

(2) 理事・監事

ア 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏名	異動内容
平成23年4月1日	常務理事	泓田 順	就任
平成24年3月31日	理事長	戸田 均史	退任
平成24年3月31日	常務理事	泓田 順	退任
平成24年3月31日	理事	浅枝 俊治	退任
平成24年3月31日	理事	飯山 郁子	退任
平成24年3月31日	理事	伊東 祐保	退任
平成24年3月31日	理事	栗栖 昭	退任
平成24年3月31日	理事	河野 芳徳	退任
平成24年3月31日	理事	後藤 慎太郎	退任
平成24年3月31日	理事	中川 和義	退任
平成24年3月31日	理事	持田 紀治	退任
平成24年3月31日	理事	山本 雅子	退任
平成24年3月31日	監事	井手下 文子	退任
平成24年3月31日	監事	松若 仁志夫	退任

イ 平成24年3月31日現在の理事・監事は、次のとおりである。

役職	氏名	就任年月日
理事長	戸田 均史	平成20年 4月 1日
常務理事	泓田 順	平成23年 4月 1日
理事	浅枝 俊治	平成21年 6月 17日
理事	飯山 郁子	平成10年 4月 1日
理事	伊東 祐保	平成22年 4月 1日
理事	栗栖 昭	平成22年 4月 1日
理事	河野 芳徳	平成22年 6月 1日
理事	後藤 慎太郎	平成18年 6月 30日
理事	中川 和義	平成16年 4月 1日
理事	持田 紀治	平成 4年 4月 1日
理事	山本 雅子	平成10年 4月 1日
監事	井手下 文子	平成22年 4月 1日
監事	松若 仁志夫	平成22年 4月 1日

(3) 評議員

ア 事業年度中の評議員の異動は、次のとおりである。

異 動 年 月 日	役 職	氏 名	異 動 内 容
平成24年3月31日	評 議 員	池 田 仁	退 任
平成24年3月31日	評 議 員	甲 斐 智 子	退 任
平成24年3月31日	評 議 員	岸 本 勇 示	退 任
平成24年3月31日	評 議 員	吉 川 清 二	退 任
平成24年3月31日	評 議 員	木 村 佐 代 子	退 任
平成24年3月31日	評 議 員	倉 本 守	退 任
平成24年3月31日	評 議 員	下 谷 邦 代	退 任
平成24年3月31日	評 議 員	島 本 啓 司	退 任
平成24年3月31日	評 議 員	須 田 泰 夫	退 任
平成24年3月31日	評 議 員	中 川 平 介	退 任
平成24年3月31日	評 議 員	橋 本 敏 信	退 任
平成24年3月31日	評 議 員	福 田 五 郎	退 任
平成24年3月31日	評 議 員	藤 本 秀 人	退 任
平成24年3月31日	評 議 員	堀 内 俊 孝	退 任
平成24年3月31日	評 議 員	益 淵 正 典	退 任
平成24年3月31日	評 議 員	向 井 田 輝 紀	退 任
平成24年3月31日	評 議 員	安 田 政 男	退 任
平成24年3月31日	評 議 員	吉 村 淳	退 任

イ 平成24年3月31日現在の評議員は、次のとおりである。

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
評 議 員	池 田 仁	平成22年 4月 1日
評 議 員	甲 斐 智 子	平成22年 4月 1日
評 議 員	岸 本 勇 示	平成22年 4月 1日
評 議 員	吉 川 清 二	平成19年 4月 1日
評 議 員	木 村 佐 代 子	平成22年 4月 1日
評 議 員	倉 本 守	平成16年 4月 1日
評 議 員	下 谷 邦 代	平成10年 4月 1日
評 議 員	島 本 啓 司	平成10年 4月 1日
評 議 員	須 田 泰 夫	平成22年 4月 1日
評 議 員	中 川 平 介	平成18年 4月 1日
評 議 員	橋 本 敏 信	平成22年 4月 1日
評 議 員	福 田 五 郎	平成15年 4月 1日

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
評 議 員	藤 本 秀 人	平成 21 年 6 月 16 日
評 議 員	堀 内 俊 孝	平成 8 年 10 月 1 日
評 議 員	益 淵 正 典	平成 8 年 10 月 1 日
評 議 員	向 井 田 輝 紀	平成 22 年 4 月 1 日
評 議 員	安 田 政 男	平成 22 年 4 月 1 日
評 議 員	吉 村 淳	平成 19 年 4 月 1 日

3 理事会等の開催

(1) 理事会

開催年月日	開催回数	付 議 事 項	審議結果
平成23年5月27日	平成 23 年 第3回	平成22年度財団法人広島市農林水産振興センター事業報告及び決算報告について	承認
		定款（寄附行為）の変更案について	原案可決
		役員報酬等に関する規則の改正案について	原案可決
		公益財団法人移行認定の申請手続きについて	原案可決
		平成22年度における職員の職務に係る倫理の保持に関する状況等の報告について「報告」	終了
		公益財団法人移行後の最初の評議員の選定結果について「報告」	終了
平成24年3月26日	平成 24 年 第1回	平成24年度公益財団法人広島市農林水産振興センター事業計画及び収支予算について	原案可決

(2) 評議員会

開催年月日	開催回数	付議事項	審議結果
平成23年5月26日	平成23年第3回	平成22年度財団法人広島市農林水産振興センター事業報告及び決算報告について	承認
		定款（寄附行為）の変更案について	承認
		役員の報酬等に関する規則の改正案について	承認
		公益財団法人移行認定の申請手続きについて	承認
		平成22年度における職員の職務に係る倫理の保持に関する状況等の報告について「報告」	終了
		公益財団法人移行後の最初の評議員の選定結果について「報告」	終了
平成24年3月22日	平成24年第1回	平成24年度公益財団法人広島市農林水産振興センター事業計画及び収支予算について	承認

4 寄附行為の変更

事業年度中の寄附行為の変更は次のとおりである。

平成24年4月1日からの公益財団法人への移行を目指し、現行寄附行為を、法令に照らし「定款」として改正することとし、公益財団法人設立登記の日から施行することとした。（平成23年5月27日第3回理事会で原案可決）

5 職員の状況

平成24年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。

（単位：人）

区分	事務職員					小計	技術職員					小計	業務員	嘱託	合計
	部長級	課長級	補佐級	係長級	主事		部長級	課長級	補佐級	係長級	技師				
農林部	調整課			2	4	6	1	1				2		3	11
	農業振興課							1	4	1	6	12		1	13
	農林体験推進課							1	4		5	10		1	11
水産部	普及指導課				1	1	1			2	1	4		2	7
	栽培漁業課							1			3	4	2	2	8
合計				2	5	7	2	4	8	3	15	32	2	9	50

6 事業の実施状況等

(1) 事業の実施状況

次の事業を実施した。

ア 公益事業

14,112,024円

次のとおり公益事業を実施した。

(ア) 農業後継者等の育成

12,882,624円

区 分	事 業 内 容 等	決算額
“ひろしま活力 農業” 経営者育成	若い農業経営者を育成するため、研修を行うとともに農地の利用集積などを行った。 a 研修活動 (a) 14期生基礎研修 農業振興センター 2人 (b) 13期生実地研修 就農予定地・沼田町 2人 b 15期生募集・選考 (a) 問い合わせ就農相談対応 15件 (b) 応募者 14人 (c) 研修生決定 3人 c 農地利用集積 農地売買等事業(利用権設定) 13、14期生 35,155㎡ d 経営確立支援 農地に関する情報収集・普及啓発活動及び 土地利用推進集落検討会 参加者27人	千円 6,297
広島市農業経営 改善支援センター の運営	「認定農業者」制度を推進し、経営改善に関する相談、支援研修の開催、情報収集・提供活動などを行った。 a 認定者数(経営改善計画作成数) 22人 (新規2人、再認定20人) ・平成24年3月末 認定農業者実数 103人 b 説明会及び窓口相談 44人 説明会(簿記、税務) 2回 窓口相談(青色申告) 1回 c 経営改善支援活動(合同研修会等) 27人 d 情報収集提供活動等 e 農業経営改善フォローアップ活動	千円 166

区 分	事 業 内 容 等	決算額
農地利用集積 円滑化	<p>若い新規就農者や農事組合法人など、農業の多様な担い手へ農地の利用集積を行った。</p> <p>a ひろしま活力農業経営者 1～12期生 23人 163,192㎡</p> <p>b 「スローライフで夢づくり」定年就農者 1～6期生 25人 40,022㎡</p> <p>c 農事組合法人 (a)「よしやま」 296,040㎡ (b)「戸山の郷中王」 127,842㎡</p> <p>d 集落法人育成加速化支援 国の補助金制度を活用し、農地利用集積円滑化事業によって、利用権が設定された農地の面積に応じて助成金を交付した。 「戸山の郷中王」 2,283㎡</p>	千円 6,420

(イ) 森林の育成及び自然保護に関する普及啓発

986,000円

区 分	事 業 内 容 等	決算額
市民参加の 森林づくり	<p>市民が森林づくり運動に自発的に参加するような動機付けと、それぞれの立場で参加できる機会を提供した。</p> <p>a 「もりメイト」育成 市民参加の森林づくりの先導的役割を果たすボランティアを育成するため、森林に関する知識や林業技術習得に係る講習会を開催した。 ・16期生認定 30人 ・講習会7回(下刈り、間伐、植林、枝打ちなど)</p> <p>b みどりの里親制度 子どもたちの森林への親近感を醸成するため、子どもたちが苗木の「里親」として苗木を家庭で育成し、再び山に戻すまでの一連の作業をサポートした。 (a) 登録 11月3日 森林公園 162人 (b) 植樹 11月27日 森林公園 83人(21年度登録者)</p> <p>c 森の訪問者活動支援 森林整備活動を支援するため、森林整備活動を行う団体に対し、必要とする道具や安全具の貸出しを行った。 貸付回数 21回 11団体</p>	千円 986

区 分	事 業 内 容 等	決算額
市民参加の 森林づくり	<p>d ひろしま「森の市」開催 森林・林業への理解を深めるため、森林ボランティア団体の活動の紹介や、木製品や森の産物の展示販売などを行う森林ボランティア団体などを支援するイベントを実施した。</p> <p>11月3日 森林公園 4,008人 参加団体 24団体</p> <p>e 「四季・彩りの森」 市民が森づくりに親しみを持ち、地域の里山林における森づくり活動のきっかけとするため、森林公園内の市有林の一部を「四季・彩りの森」としてヤマザクラなどの記念樹を植樹した。</p> <p>11月13日 森林公園 57組</p> <p>f みどりの少年団育成 小学生が自然に対する正しい理解と健全な愛護心を養うため、森林などに生息する植物や動物についての観察、学習を行った。</p> <p>(a) 団員 51人 (小学校4～6年生)</p> <p>(b) 活動 植物観察など 11回 (雨天等により1回中止) 延べ参加人数 402人 (団員・OB)</p>	—

(ウ) 農林水産業の振興に関する普及啓発

243,400円

区 分	事 業 内 容 等	決算額
「ひろしま農林水産振興ニュース」の発行	<p>農林漁業者や市民に対し、本財団の業務紹介などを行い、財団事業の理解促進や普及啓発を行った。</p> <p>年2回 各13,000部配布・ホームページに掲載</p> <p>a 7月 (第37号) ひろしま市民の里@安佐 農林業体験希望者募集中 など</p> <p>b 3月 (第38号) 農業に若い力を 13期生新規就農スタート 14期生実地研修スタート など</p>	千円 243

イ 受託事業

133,432,399円

広島市から受託した次の事業を実施した。

(7) 農業の担い手の育成

35,023,164円

区 分	事 業 内 容 等	決算額
ふるさと帰農支援	<p>定年帰農希望者に野菜の施肥方法や病虫害防除に関する講義、耕運機や播種機の使い方実習及び先進農家や市場視察などを行った。</p> <p>a 6期生研修 12人 講義・実習及び先進農家視察など</p> <p>(a) Aコース 4人 33回 (b) Bコース 8人 65回</p> <p>b 7期生募集・選考</p> <p>(a) 応募 15人 (b) 選考 14人</p> <p>※Aコース：日曜午前、Bコース：木曜午前 各コース共通：水曜夜間</p>	千円 202
“まかせんさい” 広島市女性農業士 認定	<p>広島市が認定する女性農業士の研修を行った。</p> <p>a 8期生研修 3人 5回（2年目研修）</p> <p>(a) 「農業振興対策審議会について」 (b) 「人の心のつかみ方」 大崎恵美子氏（話し方研究家） (c) 「農産物の加工について」 甲斐智子氏 (d) 「農家の確定申告について」 広島北税務署 (e) 「岡山市女性農業士との懇談会」</p> <p>b 先進地調査 1回 竹原市（神田バラ園、県農業技術センター）</p> <p>c 情報誌発行 1回 「広島市女性農業士だより」 女性農業士及び関係機関へ配布（60部）</p>	千円 145
“チャレンジ” 女性農業者支援	<p>生産から農産加工、販売までの知識を生かした経営力のある女性農業者を育成するため、研修や就農支援を行った。</p> <p>a 2期生研修 5人 講義・実習及び先進農家視察など 65回</p> <p>b 3期生募集・選考</p> <p>(a) 応募 4人 (b) 選考 4人</p>	千円 215

区 分	事 業 内 容 等	決算額
「スローライフで 夢づくり」定年 就農者育成 (指定管理業務)	定年就農希望者に研修及び農地の斡旋を行い、これまで育成した就農者への支援を行った。 a 7期生研修 7人 講義及び実習 140日 b 農地の斡旋 8,277㎡(7期生) c 8期生募集・選考 (a) 応募 9人 (b) 選考 4人 d 就農後の活動支援(1～6期生 45人)	千円 377
農業に関する 試験研究 (指定管理業務)	広島市農業振興センターにおいて、野菜・花き等の栽培試験及び普及啓発を行った。 a 軟弱野菜の栽培試験 コマツナ、ホウレンソウなど 3件 b 特長ある農産物の開発普及 (a) 野菜・花きの栽培展示、新規品目の開発 5件 (b) 講習会など 1回 c 環境にやさしい農業の推進 土壌分析 1,875件 (土ドック833件、一般分析1,042件) d 野菜や花き等の優良種苗の生産等 (a) 効率的な生産技術の普及啓発 水耕栽培等(ブドウ、イチゴ) 2件 (b) バイオ技術導入による優良種苗の開発・普及 苗の普及(フキ、サツマイモなど) 4,850株 e 施設等を良好に保つため、保守点検、維持補修を実施した。 広島市農業振興センター 敷地面積 16,147㎡ 事務所棟、試験ほ場、ガラス温室など 26棟	千円 27,474

区 分	事 業 内 容 等	決算額																																													
家畜の改良、増殖 (指定管理業務)	<p>乳用牛・和牛の生産振興、産地育成のため受精卵移植技術を採用し農家経営の安定を図った。</p> <p>a 採卵 (3月末現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>採卵回数</th> <th>採卵個数</th> <th>正常卵数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳用牛</td> <td>5回</td> <td>4個</td> <td>0個</td> </tr> <tr> <td>和 牛</td> <td>17</td> <td>156</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>22</td> <td>160</td> <td>62</td> </tr> </tbody> </table> <p>b 移植 (3月末現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>供卵牛</th> <th>受卵牛</th> <th>移植 件数(A)</th> <th>受胎未確認 件数(B)</th> <th>受胎 件数(C)</th> <th>受胎率 C/(A-B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳用牛</td> <td>乳用牛</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">和 牛</td> <td>乳用牛</td> <td>43</td> <td>7</td> <td>15</td> <td>41.7</td> </tr> <tr> <td>和 牛</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>47</td> <td>9</td> <td>16</td> <td>42.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>*受胎未確認件数とは3月31日時点で妊娠鑑定できなかった件数</p>	区分	採卵回数	採卵個数	正常卵数	乳用牛	5回	4個	0個	和 牛	17	156	62	計	22	160	62	供卵牛	受卵牛	移植 件数(A)	受胎未確認 件数(B)	受胎 件数(C)	受胎率 C/(A-B)	乳用牛	乳用牛	1件	0件	1件	100.0%	和 牛	乳用牛	43	7	15	41.7	和 牛	3	2	0	0	合計		47	9	16	42.1	千円 1,667
区分	採卵回数	採卵個数	正常卵数																																												
乳用牛	5回	4個	0個																																												
和 牛	17	156	62																																												
計	22	160	62																																												
供卵牛	受卵牛	移植 件数(A)	受胎未確認 件数(B)	受胎 件数(C)	受胎率 C/(A-B)																																										
乳用牛	乳用牛	1件	0件	1件	100.0%																																										
和 牛	乳用牛	43	7	15	41.7																																										
	和 牛	3	2	0	0																																										
合計		47	9	16	42.1																																										
家畜診療・畜産 振興	<p>疾病の発生予防と早期発見に努め適切な診療により農家経営の安定を図った。</p> <p>家畜診療</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>繁殖障害 除 去</th> <th>無血去勢 ・除角</th> <th>人工授精</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>895</td> <td>37</td> <td>237</td> <td>1,169</td> </tr> </tbody> </table> <p>畜産農家への巡回指導を行い生産意欲の向上と飼養技術の向上により農家経営の安定を図った。</p> <p>畜産振興</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>戸数</th> <th>件数</th> <th>指導内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳 用 牛 振 興</td> <td>12</td> <td>873</td> <td>①飼養管理技術指導 ②良質堆肥作成のための情報提供 ③後継牛育成指導 ④酪農組織の育成等 ⑤経営診断 ⑥環境対策指導</td> </tr> <tr> <td>和 牛 振 興</td> <td>24</td> <td>334</td> <td>①改良増殖指導 ②耕作放棄地への和牛放牧普及啓発 ③後継牛育成指導 ④飼養管理技術指導 ⑤飼養農家組織の育成 ⑥経営診断</td> </tr> <tr> <td>中 小 家 畜 振 興</td> <td>11</td> <td>45</td> <td>①糞尿処理の適正化と環境対策 指導 ②家畜伝染病予防対策</td> </tr> </tbody> </table>		繁殖障害 除 去	無血去勢 ・除角	人工授精	合計	件数	895	37	237	1,169	区分	戸数	件数	指導内容	乳 用 牛 振 興	12	873	①飼養管理技術指導 ②良質堆肥作成のための情報提供 ③後継牛育成指導 ④酪農組織の育成等 ⑤経営診断 ⑥環境対策指導	和 牛 振 興	24	334	①改良増殖指導 ②耕作放棄地への和牛放牧普及啓発 ③後継牛育成指導 ④飼養管理技術指導 ⑤飼養農家組織の育成 ⑥経営診断	中 小 家 畜 振 興	11	45	①糞尿処理の適正化と環境対策 指導 ②家畜伝染病予防対策	千円 4,943																			
	繁殖障害 除 去	無血去勢 ・除角	人工授精	合計																																											
件数	895	37	237	1,169																																											
区分	戸数	件数	指導内容																																												
乳 用 牛 振 興	12	873	①飼養管理技術指導 ②良質堆肥作成のための情報提供 ③後継牛育成指導 ④酪農組織の育成等 ⑤経営診断 ⑥環境対策指導																																												
和 牛 振 興	24	334	①改良増殖指導 ②耕作放棄地への和牛放牧普及啓発 ③後継牛育成指導 ④飼養管理技術指導 ⑤飼養農家組織の育成 ⑥経営診断																																												
中 小 家 畜 振 興	11	45	①糞尿処理の適正化と環境対策 指導 ②家畜伝染病予防対策																																												

区 分	事 業 内 容 等	決算額															
<p>“ひろしまそだち” 地産地消推進</p>	<p>“ひろしまそだち”の普及啓発を行い、地産地消を推進した。</p> <p>a “ひろしまそだち”地産地消推進協議会の開催 1回</p> <p>b “ひろしまそだち”PR</p> <p>(a) 情報誌「ひろしまそだちだより18号」の作成配布 協議会員、公民館などへ配布 3,000部</p> <p>(b) ひろしまフードフェスティバル2011でのPR</p> <p>(c) 公民館料理教室で産品PR 中央公民館、真亀公民館、温品公民館など 5館 延べ96人</p> <p>(d) ホームページによる情報発信</p> <p>c “ひろしまそだち”推進体制の強化</p> <p>(a) “ひろしまそだち”野菜アドバイザー育成・支援 料理教室などで市民へ“ひろしまそだち”PRを行う野菜アドバイザーの研修と修了生の活動支援を行った。</p> <p>① 4期生募集・選考 (1) 応募 14人 (2) 選考 13人</p> <p>② 4期生研修 12人(1人辞退) こまつなの収穫体験と鮮度比較など 10回</p> <p>③ 活動支援(1～3期生) (1) フォローアップ体験会 5回 延べ27人 (2) “ひろしまそだち”PR用野菜提供 7回</p> <p>(b) “ひろしまそだち”地産地消協力店 “ひろしまそだち”産品を積極的に取り扱う小売店・飲食店の登録を行った。 登録数31店舗(新規7店舗)</p> <p>(c) “ひろしまそだち”地産地消サポーター “ひろしまそだち”を通じた地産地消の推進に賛同する市民をサポーター登録した。 登録数 342人(新規93人)</p> <p>d ひろしま朝市の支援 地産地消と都市農村交流を推進する場である朝市の魅力アップに向けた支援を行った。</p> <table border="1" data-bbox="600 1792 1297 2011"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>開催回数</th> <th>来客数(人)</th> <th>出店数</th> <th>販売額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間</td> <td>48</td> <td>20,433</td> <td>830</td> <td>19,211,930</td> </tr> <tr> <td>1回 当り</td> <td>—</td> <td>426</td> <td>17</td> <td>400,249</td> </tr> </tbody> </table>	区分	開催回数	来客数(人)	出店数	販売額(円)	年間	48	20,433	830	19,211,930	1回 当り	—	426	17	400,249	<p>千円 2,725</p>
区分	開催回数	来客数(人)	出店数	販売額(円)													
年間	48	20,433	830	19,211,930													
1回 当り	—	426	17	400,249													

区 分	事 業 内 容 等	決算額
食農推進	<p>市民へ「食」と「農」の大切さの啓発を行った。</p> <p>a 食農体験 5回 農業振興センターほ場で、市民が栽培から収穫までの体験と調理・試食を行った。</p> <p>(a) 枝豆の食農体験 3回 延べ46人 (b) コマツナの食農体験 2回 延べ28人</p> <p>b 食農コーディネーター育成・支援 食農体験等の企画・運営に携わる市民ボランティアの育成と修了生の活動支援を行った。</p> <p>(a) 5期生募集・選考 ① 応募 15人 ② 選考 7人 (b) 5期生研修 7人 稲作体験や食農イベント視察など 24回 (c) 活動支援(1～4期生) ① フォローアップ体験会 10回 延べ28人 ② “ひろしまそだち”PR用野菜提供 4回</p>	千円 176
元気な農村づくり 人材バンク	<p>農業・農村振興にかかる優れた技能を指導できる人材を発掘・登録する人材バンクを整備し、登録を行った。 登録20人</p>	千円 30
花みどり公園 (指定管理業務)	<p>花みどり公園内の花木などを利用して、花や緑への興味や知識を深める講習会などを開催した。</p> <p>a シャクナゲふれあい祭りの開催 (4月23日～5月5日) (a) シャクナゲ展 延べ13日間 (b) 花みどり88種めぐり(園内案内) 延べ25人 (c) 花苗の無料配布 4月29日 500鉢</p> <p>b みどりづくり・はなづくり・シャクナゲ講座の開催 コケ玉づくり 4回、ガーデニング 2回、 庭木の管理など 6回、シャクナゲ 4回 16回 延べ359人</p> <p>c 食農体験教室の開催 ブルーベリージャム、マーマレード、味噌と米粉ロールケーキ、豆腐作り、しめ縄作りなど 6回 延べ175人</p> <p>d 花みどり公園ファンクラブの活動 植替え・除草や剪定などの園内管理など 145回 延べ1,010人</p> <p>e 施設等を良好に保つため、保守点検、維持補修を実施した。 花みどり公園(安佐分場) 敷地面積 92,503㎡ 管理棟、ガラス温室など 4棟</p>	千円 27,130

区 分	事 業 内 容 等	決算額
ひろしま市民の里 @安佐	<p>「食」と「農」や自然環境保全の大切さへの理解を深めるため、野菜づくりや里山づくりなどの農林業体験を通じて、自然にふれあい、交流を促進した。</p> <p>a 運営協議会の開催 1回</p> <p>b 活動日数及び活動延べ人数 308日 1,527人</p> <p>c 農地の新規開墾 畑7a、田3a</p> <p>d 自然観察会 5回</p> <p>e 食農体験</p> <p>(a) 農作物の栽培 大豆、もち米、そば、サツマイモなど 21品目</p> <p>(b) 農産加工 とうふづくり、もちつき、そば打ちなど 19品目</p>	千円 2,563
広島市市民農園 (指定管理業務)	<p>三田市民農園</p> <p>a 管理運営検討会(役員会) 4回 施設の管理及び集客・活性化企画運営の検討会など</p> <p>b 講習会等 8回 栽培講習会(2回)、夏野菜のおいしい食べ方、干し柿作り、わら草履作り、収穫祭など</p> <p>c 施設の維持管理 農園 5,500㎡ 112区画 管理棟 1棟</p> <p>見張市民農園</p> <p>a 管理運営検討会(役員会) 12回 施設の管理、集客・活性化企画運営及び空き区画利用の検討会など</p> <p>b 講習会等 8回 栽培講習会(2回)、豆腐作り、そば打ち実演、しめ縄作り、夏休みふれあい体験(そうめん流し等)、大人の食農体験(サトイモ収穫等)、収穫祭</p> <p>c 施設の維持管理 農園 8,650㎡ 178区画 管理棟 1棟</p> <p>三国市民農園</p> <p>a 管理運営検討会(役員会) 1回 施設の管理、集客・活性化企画運営の検討会</p> <p>b 講習会等 3回 栽培講習会(2回)、収穫祭</p> <p>c 施設の維持管理 農園 3,375㎡ 137区画</p>	千円 10,876

区 分	事 業 内 容 等	決算額
広島市市民菜園 開園推進	市民菜園を新規開園するため、パンフレット配布などの普及啓発を行った。 平成23年度開園数 3カ所 170区画 (安佐南区、安佐北区、安芸区)	千円 182
広島市市民体験 農園開園推進	市民が指導を受けながら農作業ができる体験農園を新規開園するため、地権者への普及啓発や管理指導者の募集・選考及び研修を行った。 3期生研修 4人 講義及び実習	千円 28
里山整備士養成 講座の開催	地域の生活環境や美しい景観などに配慮した健全な里山の再生を行うため、広島市域の里山において、市民ボランティアと地域住民が協働で、再生・整備を行う際の指導役を担う「里山整備士」を養成した。(研修期間2年) a 7期生1年目基礎講座 5人 11回 植生調査、測量、整備計画や整備実習などを行った。 b 6期生2年目実践講座 6人 9回 基礎講座修了者が、里山林整備の実践を行った。	千円 554
太田川源流の森 整備	広島市水道局が平成10年度に廿日市市吉和に取得した森林(面積354.92ha)について、水源かん養機能を十分に発揮するため、「太田川源流の森整備基本計画(平成21年度～30年度)」に基づき、計画的に森林管理を行った。 a 森林整備管理 下 刈 17.24ha 除 伐 2.01ha 間 伐 9.43ha 枝 打 0.55ha 整理伐 12.00ha 計 41.23ha 作業道維持補修 305m b 普及啓発 水源かん養の重要性を広く啓発するため、市水道局が行う植樹活動などをサポートした。 下 刈 3.50ha	千円 11,970

区 分	事 業 内 容 等	決算額																																														
漁業技術の普及 指導等 (指定管理業務)	<p>水産資源の確保及び漁業生産の増大を図り、もって水産業の振興に寄与するため、次の事業を行った。</p> <p>a カキ養殖に関する調査及び指導</p> <p>カキ養殖に関する各調査を行い、その結果をもとに養殖指導を行った。</p> <p>(a) カキ採苗調査</p> <p>良質なカキの生産に必要な種苗を確保するため、カキ採苗についての調査を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>調査期間</th> <th>調査地点</th> <th>調査回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼生調査</td> <td>6月～8月</td> <td>17地点</td> <td>37回</td> </tr> <tr> <td>種見調査</td> <td>6月～8月</td> <td>17地点</td> <td>43回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(b) 害敵生物調査</p> <p>養殖中のカキの成育不良などの原因となるムラサキイガイなどについて調査を実施した。</p> <p>・ムラサキイガイ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>調査期間</th> <th>調査地点</th> <th>調査回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼生調査</td> <td>4月～7月 1月～3月</td> <td>10地点</td> <td>50回</td> </tr> <tr> <td>付着調査</td> <td>4月～7月 3月</td> <td>11地点</td> <td>37回</td> </tr> </tbody> </table> <p>・稚ガキ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>調査期間</th> <th>調査地点</th> <th>調査回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>付着調査</td> <td>9月～10月</td> <td>4地点</td> <td>9回</td> </tr> </tbody> </table> <p>・アカフジツボ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>調査期間</th> <th>調査地点</th> <th>調査回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>付着調査</td> <td>8月～11月</td> <td>4地点</td> <td>4回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(c) 出荷サイズ調査</p> <p>カキの成育状況、出荷動向などを把握するための調査を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査期間</th> <th>対象者数</th> <th>調査件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月、5月、10月～3月</td> <td>10経営体</td> <td>73件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(d) 養殖指導</p> <p>カキ養殖業者に対し、カキ採苗調査・害敵生物調査結果などをもとに養殖指導を行った。</p> <p>指導件数 1, 115件 (うち来場・現場指導918件)</p>	区分	調査期間	調査地点	調査回数	幼生調査	6月～8月	17地点	37回	種見調査	6月～8月	17地点	43回	区分	調査期間	調査地点	調査回数	幼生調査	4月～7月 1月～3月	10地点	50回	付着調査	4月～7月 3月	11地点	37回	区分	調査期間	調査地点	調査回数	付着調査	9月～10月	4地点	9回	区分	調査期間	調査地点	調査回数	付着調査	8月～11月	4地点	4回	調査期間	対象者数	調査件数	4月、5月、10月～3月	10経営体	73件	千円 1,482
区分	調査期間	調査地点	調査回数																																													
幼生調査	6月～8月	17地点	37回																																													
種見調査	6月～8月	17地点	43回																																													
区分	調査期間	調査地点	調査回数																																													
幼生調査	4月～7月 1月～3月	10地点	50回																																													
付着調査	4月～7月 3月	11地点	37回																																													
区分	調査期間	調査地点	調査回数																																													
付着調査	9月～10月	4地点	9回																																													
区分	調査期間	調査地点	調査回数																																													
付着調査	8月～11月	4地点	4回																																													
調査期間	対象者数	調査件数																																														
4月、5月、10月～3月	10経営体	73件																																														

区 分	事 業 内 容 等	決算額																												
漁業技術の普及 指導等 (指定管理業務)	<p>b 広島ブランドカキ開発 シングルシードカキ（一粒殻付カキ）種苗を用い、殻付カキの需要の多い年内からの出荷を目指した養殖手法の開発を行った。</p> <table border="1" data-bbox="547 349 1281 443"> <tr> <td>環 境 調 査</td> <td>36回</td> </tr> <tr> <td>カ キ 測 定</td> <td>8回</td> </tr> </table> <p>c ノリ・ワカメ養殖に関する調査及び指導 ノリ・ワカメの養殖時期に、養殖海域の環境調査及び生育状況を調査し、養殖の技術指導を行った。</p> <table border="1" data-bbox="547 580 1281 674"> <tr> <td>調査期間</td> <td>調査地点</td> <td>指導件数</td> </tr> <tr> <td>11月～2月</td> <td>7地点</td> <td>190件</td> </tr> </table> <p>d 魚介類に関する指導 操業海域の環境調査結果などを活用して、漁労漁業者などに指導を行った。 指導件数 819件</p> <p>e 漁場環境の調査</p> <p>(a) カキ漁場環境調査 広島湾北部海域及び大黒神島海域において、カキ養殖に大きな影響を及ぼす水温やプランクトンなどの調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="547 1081 1281 1265"> <tr> <td>調査地点数</td> <td>8地点</td> </tr> <tr> <td>調査回数</td> <td>118回（4月～3月）</td> </tr> <tr> <td>調査内容</td> <td>水温、塩分濃度、透明度、プランクトン沈澱量</td> </tr> </table> <p>(b) 広島湾底質調査 広島湾北部海域の底質の状態を把握するため、全硫化物量などの調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="547 1402 1281 1541"> <tr> <td>調査地点数</td> <td>3地点</td> </tr> <tr> <td>調査回数</td> <td>2回（9月、2月）</td> </tr> <tr> <td>調査内容</td> <td>全硫化物量、泥色、泥温、含水率</td> </tr> </table> <p>(c) ヤマトシジミ漁場環境、生息調査 太田川において、ヤマトシジミの生息に大きな影響を及ぼす水温、塩分濃度を測定するとともに、生息状況の調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="547 1724 1281 1863"> <tr> <td>調査地点数</td> <td>6地点</td> </tr> <tr> <td>調査回数</td> <td>4回（5月、8月、10月、1月）</td> </tr> <tr> <td>調査内容</td> <td>水温、塩分濃度、生息状況</td> </tr> </table>	環 境 調 査	36回	カ キ 測 定	8回	調査期間	調査地点	指導件数	11月～2月	7地点	190件	調査地点数	8地点	調査回数	118回（4月～3月）	調査内容	水温、塩分濃度、透明度、プランクトン沈澱量	調査地点数	3地点	調査回数	2回（9月、2月）	調査内容	全硫化物量、泥色、泥温、含水率	調査地点数	6地点	調査回数	4回（5月、8月、10月、1月）	調査内容	水温、塩分濃度、生息状況	—
環 境 調 査	36回																													
カ キ 測 定	8回																													
調査期間	調査地点	指導件数																												
11月～2月	7地点	190件																												
調査地点数	8地点																													
調査回数	118回（4月～3月）																													
調査内容	水温、塩分濃度、透明度、プランクトン沈澱量																													
調査地点数	3地点																													
調査回数	2回（9月、2月）																													
調査内容	全硫化物量、泥色、泥温、含水率																													
調査地点数	6地点																													
調査回数	4回（5月、8月、10月、1月）																													
調査内容	水温、塩分濃度、生息状況																													

区 分	事 業 内 容 等	決算額														
漁業技術の普及 指導等 (指定管理業務)	f 漁場環境の変化への対応 広島市や関係漁協と協働し、丹那船溜（南区）の水質及び底質の調査を実施した。	—														
	<table border="1"> <tr> <td>調査地点数</td> <td>4地点</td> </tr> </table>		調査地点数	4地点												
	調査地点数		4地点													
	<table border="1"> <tr> <td>調査回数</td> <td>3回（8月、9月、11月）</td> </tr> </table>		調査回数	3回（8月、9月、11月）												
	調査回数		3回（8月、9月、11月）													
	<table border="1"> <tr> <td>調査内容</td> <td>水質：水温、塩分濃度、溶存酸素量 底質：全硫化物量</td> </tr> </table>		調査内容	水質：水温、塩分濃度、溶存酸素量 底質：全硫化物量												
	調査内容		水質：水温、塩分濃度、溶存酸素量 底質：全硫化物量													
	g 後継者育成 漁業後継者育成のため、研修会などを開催するとともに、相談・支援を行った。 カキ養殖技術研修会 5回 37人															
	h 地元産品の直販指導 ひろしま朝市などで漁業者自らが実施する販売活動の指導を行い、地産地消の推進を図った。															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>イベント名等</th> <th>販売品目等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひろしま朝市</td> <td>カキ、シジミ、鮮魚など 周年</td> </tr> <tr> <td>ひろしまフードフェスティバル</td> <td>シジミ、タコ飯、カキ入りお焼きなど 10月</td> </tr> <tr> <td>草津かき小屋</td> <td>焼ガキなど 1～3月</td> </tr> <tr> <td>ひろしま男子駅伝</td> <td>カキ 1月</td> </tr> <tr> <td>広島かきチャリティーバザール</td> <td>カキ 2月</td> </tr> <tr> <td>南の風EBAあそび</td> <td>カキ、ワカメ 2月</td> </tr> <tr> <td>大河水産まつり</td> <td>カキ、ノリ、鮮魚など 2月</td> </tr> </tbody> </table>		イベント名等	販売品目等	ひろしま朝市	カキ、シジミ、鮮魚など 周年	ひろしまフードフェスティバル	シジミ、タコ飯、カキ入りお焼きなど 10月	草津かき小屋	焼ガキなど 1～3月	ひろしま男子駅伝	カキ 1月	広島かきチャリティーバザール	カキ 2月	南の風EBAあそび	カキ、ワカメ 2月
イベント名等	販売品目等															
ひろしま朝市	カキ、シジミ、鮮魚など 周年															
ひろしまフードフェスティバル	シジミ、タコ飯、カキ入りお焼きなど 10月															
草津かき小屋	焼ガキなど 1～3月															
ひろしま男子駅伝	カキ 1月															
広島かきチャリティーバザール	カキ 2月															
南の風EBAあそび	カキ、ワカメ 2月															
大河水産まつり	カキ、ノリ、鮮魚など 2月															
i 情報の提供 カキ採苗調査や漁場環境調査結果などをもとに情報紙を作成し、ファクシミリ、電子メールなどにより、主に漁業団体へ提供した。																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>提供件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カキ養殖情報</td> <td>178件</td> </tr> <tr> <td>ノリ・ワカメ養殖情報</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>真珠養殖情報</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>海況情報</td> <td>48件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>239件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	提供件数	カキ養殖情報	178件	ノリ・ワカメ養殖情報	4件	真珠養殖情報	9件	海況情報	48件	計	239件				
区分	提供件数															
カキ養殖情報	178件															
ノリ・ワカメ養殖情報	4件															
真珠養殖情報	9件															
海況情報	48件															
計	239件															

区 分	事 業 内 容 等	決算額																																
<p>つくり育てる漁業の推進 (指定管理業務)</p>	<p>水産資源の維持増大を図り、市民へ新鮮な魚介類を安定的に供給するため、次の事業を行った。</p> <p>a 種苗生産 次のとおり種苗を生産し、広島市に引き渡した。</p> <table border="1" data-bbox="528 353 1294 1025"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>生産計画</th> <th>生産結果</th> <th>大きさ等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア ユ</td> <td>110万尾</td> <td>110.0万尾</td> <td>0.5g以上</td> </tr> <tr> <td>マコガレイ</td> <td>10万尾</td> <td>10.6万尾</td> <td>30mm以上</td> </tr> <tr> <td>スズキ</td> <td>1万尾</td> <td>1.2万尾</td> <td>30mm以上</td> </tr> <tr> <td>オニオコゼ</td> <td>3万尾</td> <td>3.3万尾</td> <td>40mm以上</td> </tr> <tr> <td>ガザミ</td> <td>20万尾</td> <td>39.6万尾</td> <td>稚ガニ 3令以上</td> </tr> <tr> <td>モクズガニ</td> <td>40.2万尾</td> <td>40.3万尾</td> <td>稚ガニ 1令以上</td> </tr> <tr> <td>ワカメ</td> <td>種糸 7,000m</td> <td>種糸 7,000m</td> <td>幼芽3mm以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>b 新魚種開発試験</p> <p>(a) シングルシードカキ (一粒殻付カキ) シングルシードカキの種苗を安定的に量産化するため、平成21年度から開始した親魚養成技術、人工採苗技術及び種苗育成管理技術の技術開発試験を継続して行った。 ・生産数量 25mm以上の種苗5.1万個</p> <p>(b) アイナメ 種苗放流による漁獲の増加が期待できるアイナメの種苗生産技術を確立するため、親魚養成、採卵、卵管理及び飼育管理などの技術開発試験を行った。 ・生産数量 全長67mmの種苗3,600尾 (目標：全長60mm以上の種苗1,000尾)</p> <p>c 種苗放流指導 漁業関係者を対象に、種苗放流、栽培漁業技術などの指導や研修会を行った。</p> <p>(a) 種苗放流指導 11回 38人 (b) 栽培漁業技術研修会 10回 31人</p>	種 類	生産計画	生産結果	大きさ等	ア ユ	110万尾	110.0万尾	0.5g以上	マコガレイ	10万尾	10.6万尾	30mm以上	スズキ	1万尾	1.2万尾	30mm以上	オニオコゼ	3万尾	3.3万尾	40mm以上	ガザミ	20万尾	39.6万尾	稚ガニ 3令以上	モクズガニ	40.2万尾	40.3万尾	稚ガニ 1令以上	ワカメ	種糸 7,000m	種糸 7,000m	幼芽3mm以上	<p>千円 39,228</p>
種 類	生産計画	生産結果	大きさ等																															
ア ユ	110万尾	110.0万尾	0.5g以上																															
マコガレイ	10万尾	10.6万尾	30mm以上																															
スズキ	1万尾	1.2万尾	30mm以上																															
オニオコゼ	3万尾	3.3万尾	40mm以上																															
ガザミ	20万尾	39.6万尾	稚ガニ 3令以上																															
モクズガニ	40.2万尾	40.3万尾	稚ガニ 1令以上																															
ワカメ	種糸 7,000m	種糸 7,000m	幼芽3mm以上																															

区 分	事 業 内 容 等	決算額												
<p>つくり育てる漁業の推進 (指定管理業務)</p>	<p>d 種苗放流効果調査 市場における標識放流魚の混入率調査を行うとともに、漁業者から漁獲状況の聞き取り調査を行うなど、種苗放流効果を確認した。</p> <p>(a) オニオコゼ市場調査</p> <table border="1" data-bbox="531 398 1294 539"> <tr> <td>調査回数</td> <td>5回(6月、7月、8月)</td> </tr> <tr> <td>調査結果</td> <td>調査魚数 264、標識魚数 6、混入率 2.3% (標識率26.9%で割り戻した推定混入率 8.6%)</td> </tr> </table> <p>(b) オニオコゼ漁獲聞き取り調査</p> <table border="1" data-bbox="531 584 1294 725"> <tr> <td>調査回数</td> <td>2回(5月、3月)</td> </tr> <tr> <td>調査結果</td> <td>調査魚数 17、標識魚数 2、混入率 11.8% (標識率35.8%で割り戻した推定混入率 33.0%)</td> </tr> </table> <p>e 施設等の維持管理 施設などを良好に保つため、保守点検、維持補修を実施した。</p> <p>広島市水産振興センター 敷地面積 9,958㎡ 本館棟、ガザミ槽棟、飼育棟など 15棟 指導船(第八市水丸、なきり丸、つくね)</p>	調査回数	5回(6月、7月、8月)	調査結果	調査魚数 264、標識魚数 6、混入率 2.3% (標識率26.9%で割り戻した推定混入率 8.6%)	調査回数	2回(5月、3月)	調査結果	調査魚数 17、標識魚数 2、混入率 11.8% (標識率35.8%で割り戻した推定混入率 33.0%)	<p>—</p>				
調査回数	5回(6月、7月、8月)													
調査結果	調査魚数 264、標識魚数 6、混入率 2.3% (標識率26.9%で割り戻した推定混入率 8.6%)													
調査回数	2回(5月、3月)													
調査結果	調査魚数 17、標識魚数 2、混入率 11.8% (標識率35.8%で割り戻した推定混入率 33.0%)													
<p>水産資源に関する調査 (指定管理業務)</p>	<p>資源量や漁獲魚種を把握し、漁業指導の基礎資料とするため、次の調査を行った。</p> <p>a 操業日誌によるナマコ等の漁場別漁獲量調査 広島湾におけるナマコなどの水産資源の基礎資料とするため、漁場別漁獲量の調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="587 1402 1278 1503"> <tr> <td>時 期</td> <td>11月～3月</td> </tr> <tr> <td>対 象 者</td> <td>漁労漁業者2人</td> </tr> </table> <p>b アサリの漁場別生息・成育等調査 広島市海域のアサリの漁場別生息・成育状況などの調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="587 1637 1278 1738"> <tr> <td>時 期</td> <td>5月</td> </tr> <tr> <td>調査地点数</td> <td>6地点</td> </tr> </table> <p>c 魚介類の漁獲実態についての聞き取り調査 漁労漁業者から、漁獲状況などについて随時聞き取りを行った。</p> <table border="1" data-bbox="587 1872 1278 1973"> <tr> <td>時 期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>調査回数</td> <td>50回</td> </tr> </table>	時 期	11月～3月	対 象 者	漁労漁業者2人	時 期	5月	調査地点数	6地点	時 期	通年	調査回数	50回	<p>千円 89</p>
時 期	11月～3月													
対 象 者	漁労漁業者2人													
時 期	5月													
調査地点数	6地点													
時 期	通年													
調査回数	50回													

区 分	事 業 内 容 等	決算額																															
水産に関する知識の普及啓発 (指定管理業務)	<p>水産業への理解の促進を図るため、次の事業を行った。</p> <p>a 施設の一般公開</p> <p>資料展示室を公開するとともに、小中学校などの団体に対し種苗生産施設の案内及び説明を行った。</p> <table border="1" data-bbox="592 353 1273 1048"> <thead> <tr> <th></th> <th>区分</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">団 体</td> <td>幼稚園・保育園</td> <td>4 6 1 人</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>4, 0 6 3 人</td> </tr> <tr> <td>中学・高校・大学</td> <td>2 1 1 人</td> </tr> <tr> <td>漁業関係</td> <td>1 4 人</td> </tr> <tr> <td>官公庁</td> <td>3 人</td> </tr> <tr> <td>海辺の教室</td> <td>4 3 2 人</td> </tr> <tr> <td>外国人</td> <td>7 人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>9 5 6 人</td> </tr> <tr> <td>小 計</td> <td>6, 1 4 7 人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">一 般</td> <td>水産まつり・漁業フェスティバル</td> <td>1 7, 2 0 0 人</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4, 1 0 6 人</td> </tr> <tr> <td>小 計</td> <td>2 1, 3 0 6 人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2 7, 4 5 3 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>b 海辺の教室</p> <p>魚と漁業に関する学習会を次のとおり開催した。</p> <p>・テーマ</p> <p>4月(育てる漁業) 10月(海の珍味を食べよう) 5月(海辺のいきもの) 11月(漁業フェスティバル) 6月(メダカの育て方) 12月(カキ養殖) 7月(チリメンモンスター) 1月(カキ養殖) 8月(プランクトン) 2月(魚の年齢) 9月(シジミ漁業) 3月(魚のおろし方)</p> <p>・参加者 合計 160組 432人</p> <p>c 漁業フェスティバル(来場者数4,500人)</p> <p>小学校3～6年生の児童とその保護者を対象にした漁業体験や、魚介類販売などによる魚食普及及び消費拡大のための試食イベントを11月に漁業団体と共催した。</p> <p>(a) 漁業体験</p> <p>一般公募(小学校3～6年生)</p> <p>・カキ養殖漁場見学クルーズ 25組 50人 ・カキ打ち体験 13組 26人 ・刺網漁体験「網からの魚はずし」14組 28人</p> <p>自由参加</p> <p>・「魚と漁業の資料展示室」の開館 ・種苗生産施設(アユ稚魚)の公開 ・魚介類のタッチングプール</p>		区分	人数	団 体	幼稚園・保育園	4 6 1 人	小学校	4, 0 6 3 人	中学・高校・大学	2 1 1 人	漁業関係	1 4 人	官公庁	3 人	海辺の教室	4 3 2 人	外国人	7 人	その他	9 5 6 人	小 計	6, 1 4 7 人	一 般	水産まつり・漁業フェスティバル	1 7, 2 0 0 人	その他	4, 1 0 6 人	小 計	2 1, 3 0 6 人	合 計	2 7, 4 5 3 人	千円 1,377
	区分	人数																															
団 体	幼稚園・保育園	4 6 1 人																															
	小学校	4, 0 6 3 人																															
	中学・高校・大学	2 1 1 人																															
	漁業関係	1 4 人																															
	官公庁	3 人																															
	海辺の教室	4 3 2 人																															
	外国人	7 人																															
	その他	9 5 6 人																															
	小 計	6, 1 4 7 人																															
	一 般	水産まつり・漁業フェスティバル	1 7, 2 0 0 人																														
その他		4, 1 0 6 人																															
小 計		2 1, 3 0 6 人																															
合 計	2 7, 4 5 3 人																																

区 分	事 業 内 容 等	決算額
水産に関する知識 の普及啓発 (指定管理業務)	<p>(b) 試食、販売など(漁業団体実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒鯛刺身・味噌汁、カキ蒸し焼きの試食 ・魚のさばき方実演 ・カキ、活魚などの販売 <p>d 広島市水産まつり</p> <p>漁業団体が2月に開催した「広島市水産まつり」に協賛し、施設を公開するなど、多くの市民に対し、「広島市の漁業」や「つくり育てる漁業」などに関する理解を深めた。</p> <p>(来場者数17,000人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「魚と漁業の資料展示室」の開館 ・種苗生産施設(マコガレイ稚魚)の公開(漁業団体実施分) ・「カキ打ち」「ノリすき」の体験 ・黒鯛刺身・味噌汁、大河鍋などの試食 ・カキ、活魚などの販売 <p>e 広島かき子ども体験隊</p> <p>一連のカキ養殖作業を実際に参加者が行う体験事業を漁業団体と共催で開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施月及び内容 <ul style="list-style-type: none"> 9月 カキ養殖学習会、通し替え体験など 3月 収穫作業見学、カキ打ち体験など ・参加者 10組20人 <p>f 海と漁業に関する体験学習</p> <p>市内の小学校や子供会などに対し、カキ打ち体験や干潟の生物観察などを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カキ打ち体験など 6回 271人 ・干潟の生物観察 1回 123人 <p>g 水産知識の情報提供</p> <p>インターネットなどを活用し、水産業及び水産生物に関する情報提供を随時行った。</p> <p>また、市民などからの依頼に応じて講師を派遣し、海と漁業に関する研修会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> (a) ホームページアクセス件数 39,823件 (b) 来訪 38件 (c) 電話など 153件 (d) メールマガジン発行 12回 (e) 講師派遣 3回(受講者:323人) 	-

ウ 収益事業

2,834,920円

広島市市民菜園等の管理運営

次のとおり市民菜園などの管理を行った。

区 分	事 業 内 容 等	決算額								
広島市市民菜園	<p>農家が開園する市民菜園の管理運営を行った。</p> <p>36菜園 2,365区画</p> <p>a 入園事務 (入園者の募集・貸付契約事務)</p> <p>b 施設の維持管理 (ポンプ修繕、除草等)</p> <p>c 栽培講習会 12回 延べ95人 (安佐南区、安佐北区、安芸区、佐伯区で各3回)</p> <table border="1" data-bbox="587 674 1278 869"> <thead> <tr> <th data-bbox="587 674 799 723">実施月</th> <th data-bbox="799 674 1278 723">テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="587 723 799 772">8 月</td> <td data-bbox="799 723 1278 772">秋冬野菜の育て方等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 772 799 822">11月</td> <td data-bbox="799 772 1278 822">冬越しの方法等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="587 822 799 869">3 月</td> <td data-bbox="799 822 1278 869">春夏野菜の育て方等</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	テーマ	8 月	秋冬野菜の育て方等	11月	冬越しの方法等	3 月	春夏野菜の育て方等	<p>千円 2,835</p>
実施月	テーマ									
8 月	秋冬野菜の育て方等									
11月	冬越しの方法等									
3 月	春夏野菜の育て方等									
広島市市民体験農園	<p>農家が開園する市民体験農園の入園事務を行った。</p> <p>2農園 (安佐北区勝木、佐伯区石内)</p> <p>共同体験エリア 75組</p> <p>個人体験エリア 111区画</p> <p>a 入園事務 (入園者の募集・貸付契約事務)</p>									

(2) 無償使用貸借資産

事業を実施するにあたって、広島市から無償使用貸借している資産は次のとおりである。

ア 建物及び土地

(平成24年3月31日現在)

名 称	所 在 地	区分	現 在 高
広島市農業振興センター	広島市安佐北区深川八丁目30番12号	建物	事務室等 545.04㎡
広島市農業振興センター安佐分場	広島市安佐北区安佐町大字久地2411番地1	建物	事務室等 132.496㎡
広島市水産振興センター	広島市西区商工センター八丁目5番1号	建物	事務室等 171.60㎡

イ 物品

(平成24年3月31日現在)

区 分		現在高
車両	貨物車	5点
	乗用車	1点
	農耕作業用自動車	1点
船 舶		3点
合 計		10点

注：この表は、重要物品として取得価額又は評価価額が100万円以上の物品を記載した。